

1 第5期愛媛県学力向上推進計画を策定

本計画では、これまでの取組を継承・発展させながら、「子供が主体となる学び」の実現を中核に据えています。

県では、授業の中で、子供たちが「なぜだろう」「やってみたい」と感じ、解決に向けて学び合い、思いや考えを深めていく、そのような学びの姿を目指し、授業改善を一層推進していきます。

また、デジタル技術の効果的な活用や、多様な子供一人一人を包摂した学習指導の充実を図るとともに、県・市町・学校・家庭・地域・大学が連携する「オール愛媛」の体制のもと、教育の質の向上に取り組めます。

<愛媛が目指す授業>づくりの推進

- 授業づくりのポイントや視点の提示
- 授業力パワーアップ研究会による授業モデルの提示及び好事例の横展開
- 生成AIを活用した教材開発や授業実践に向けた伴走型支援及び活用事例の提示



日々の授業を通して、子供たちの小さな気付きや達成感を積み重ねていくことが、確かな学力の育成につながります。そうした授業づくりを、先生方と共に推進していきます。

2 デジタル・シティズンシップ教育の推進

インターネットやデジタル機器は、子供たちの生活や学びに欠かせないものになっています。その一方で、使い方によってはトラブルやリスクにつながる可能性もあります。今年度、県が実施した調査からも、ネットトラブルに発展し得る経験をした児童生徒の存在が明らかになっており、適切に判断し、行動する力の育成が一層重要となっています。さらに、昨今は生成AIが子どもたちにとって身近なものになりつつあります。生成AIに、名前や住所などの個人情報を入力すると、生成AIの記憶の一部として残り、それらの情報が意図せず外部に出力されてしまう場合があるため、「個人情報をはじめ重要な情報は、絶対に生成AIに入力しない」ということを指導することが大切です。

本年度は、児童生徒が今後さらに発展する情報化社会の一員として、適切な判断の下に、責任ある行動を取ることができるよう、昨年度末に開発した「デジタル・シティズンシップ育成アプリ」等を活用しながら、より一層指導の充実を図ります。

3 不登校児童生徒等支援の充実

不登校児童生徒への支援については、校内サポートルームの設置が各地域で進み、子供たちの新たな居場所づくりが広がりつつあります。本年度も、一人一人の状況や思いに寄り添いながら、多様な学びの機会の確保と安心して過ごせる環境づくりを推進していきます。あわせて、モデル校等で得られた知見や実践を共有し、県全体として支援の質を高めます。